

§ 学長挨拶



日頃より富山大学の教育・研究・社会活動にご理解いただき、また、格別のご支援を賜りまして深く感謝申し上げます。

私は、平成31年4月より富山大学学長を拝命しました。

本学は、我が国の財政状況の厳しさから、国からの予算が年々削減され、これに対し経費節減など自助努力を重ねておりますが、果たすべき教育・研究機能を維持した将来像を描くことが困難な状態も生まれてきております。

平成24年4月に「富山大学基金」を創設し、本基金の充実に向け、教職員・学生・同窓会並びに関係各位のご支援をお願いして全学的に取り組んでおります。募りました基金は、本誌に掲載のように活用させていただいております。

今後、学生支援や教育研究支援などの事業を充実させるため、引き続き皆様からご支援を賜りますようお願い申し上げます。

§ 富山大学基金の近況

平成31年3月末現在の寄附累計額は、約1億8,668万円となりました。

ご協力ありがとうございました。引き続き宜しくお願いします。

◎ 「富山大学基金」寄附受入状況（平成31年3月末現在）

区 分	件 数	金 額 (円)	備 考
役員・教職員	735	16,066,000	
元教職員	122	8,033,390	
在学生	40	545,000	
同窓会	1,323	33,147,580	
保護者	98	1,210,000	
法人等	118	104,388,237	
一般	14	23,290,000	
計	2,450	186,680,207	

富山大学基金の募集案内にあたり、富山大学同窓会連合会及び各学部同窓会のご協力とご支援を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

※ ご寄附いただいた皆様方で開示をご承諾いただいた皆様の芳名は、Webに掲載しております。誠にありがとうございます

§ 富山大学基金の活動

富山大学基金は平成24年4月に設置され、同年8月から募金活動を始めてから、この約6年間には学内の教職員はもとより、企業法人の皆様方、名誉教授の先生方、事務職員のOB・OGの皆様方並びに同窓会連合会のご協力の下、各学部の同窓会の皆様方のご理解とご協力によりまして、平成31年3月末現在の寄附件数は、2,450件、基金寄附総額は、約1億8,668万円となりました。皆様方からのあたたかいご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。皆様方からご寄附をいただいた基金を有効に活用させていただき、本学の独自事業として富山大学基金の財源で平成26年度から平成30年度の間、学生海外留学支援として28名の学生に対して支援を行い、学生の留学生生活をより充実したものにすることができました。さらに、平成30年度から富山大学グローバルSD研修として若手職員3名を海外派遣いたしました。今後、更に充実していきたいと考えております。

(富山大学基金学生海外留学支援プログラム奨学金受給学生からのメッセージ)



医学部医学科 1年 生澤慶裕
留学機関：ILSC バンクーバー（カナダ）
留学期間：平成30年7月～平成30年12月

この度は、富山大学基金事業学生海外留学支援プロジェクトの奨学生としてご支援いただき、そして私の留学にご理解とご協力を頂きました皆様に心から感謝申し上げます。

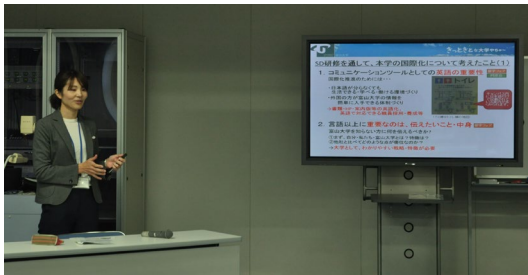
私は将来、国際的人道支援に医師として携わりたいという大きな目標があり、そのために必要な語学力の向上、異国の地における適応力、また異なる価値観への理解を深めることを主な目的とし留学しました。

バンクーバーは、互いが価値観を押し付け合うことなく多種多様なそれが共存する場所であり、非常に先進的で刺激的でありました。その環境の中で、他国の人とクラス内外で交流したことは、上記の目的の達成に大きく寄与しただけでなく、私を1人の人間として大きく成長させてくれました。

私は“語学留学”として留学をしましたが、実際は語学のみならず様々なことを学ぶことができた大変有意義な時間でした。

今後も国内外に目を向け、この貴重な経験を他の学生とも共有し、様々な場で還元していきたいと思っております。

(富山大学グローバルSD研修)



この研修は、本学若手事務系職員を日本学生支援機構が実施する日本留学フェアに派遣し、日本留学を希望する外国人に対して、富山大学や富山県の魅力をアピールしてもらうことにより、外国人の日本に対する考え方等に直接触れてもらい、大学の国際化推進に資する能力獲得の機会を与え、職員のグローバル意識や英語スキルの向上を図ること目的とするものです。

これに、富山大学基金より平成30年度から補助いたしました。

研修は、タイ（チェンマイ）、インドネシア（ジャカルタ）、ベトナム（ホーチミン）へそれぞれ3泊程度で、各1名を派遣し、日本留学フェアで本学のアピールや現地日本語学校への訪問を行いました。さらに、タイ、ベトナムにおいては、元本学留学生と現地同窓会設立に向けての打合せも行いました。

派遣された研修者による報告会を11月8日開催し、研修の状況、これにより得たことや反省点などの報告がありました。この研修は、将来に生かされると期待が持てるものでした。

〈SD研修 — 大学の管理運営、教育や研究の支援までを含めた質の向上を図るため、事務職員や技術職員などを対象に行われる、職能開発の組織的な取り組み〉

◎ 寄附金の申込み方法は次のとおりです。

- ① 寄附の申込みを希望される方は、下記（お問い合わせ先）まで電話、FAXまたは郵送でお知らせください。
- ② 富山大学から富山大学基金趣意書及び専用の「振込用紙」を郵送いたします。
- ③ 郵送の「振込用紙」により指定金融機関からお振込みください。なお、振込手数料は本学が負担しますので、寄附者様のご負担はございません。ただし、その他の指定以外の金融機関からお振込みいただく場合は、振込手数料が発生しますので、振込金額欄には、振込手数料を差し引いた金額を記入いただき、振込手数料と合わせてお振込み手続きをお願いいたします。この場合、振込手数料を含めた金額を寄附金としてお取扱いいたします。また、富山大学基金へのご寄附は何回でも可能です。ご寄附について、寄附者様ごとに累計して管理いたします。
- ④ 寄附金の入金を確認させていただいた後、本学が発行する「寄附金受領証明書」をお送りいたします。

(お問い合わせ先) 富山大学基金事務室 〒930-8555 富山市五福 3190

Tel : 076-445-6178 Fax : 076-445-6014

E-mail : kikin@adm.u-toyama.ac.jp